

ゆきょうじ 遊行寺だより

ホームページでも
配信しています

暑い日が続いております、こまめに水分補給をして、くれぐれも熱中症にはお気を付けください。
また、今月は境内にて薪能が開催されます。暑さに負けず、能や狂言をお楽しみにご参拝いただければと思います。

◆ 今月の行事予定

- **写経会**【4日(日)午後1時】
しゃきようえ
 どなたでも気軽に写経の体験ができます。
 受付は12時半からです。(御志納1,000円)
 道具はこちらで用意しており、各自写経終了後解散となります
- **初盆供養会**【11日(日)午後2時】
はつぼんくようえ
 本堂にて合同で初盆供養を行います。
 *初盆を迎えるご家庭にのみご案内しております。

寺務所にて

御遠忌記念グッズ

授与しています



遊行寺冊子 500円

四季折々の境内の写真と、漫画家 二階堂正宏氏による絵ものがたり等、みどころが満載です。



御朱印袋 700円

キャンバス生地でフラットタイプのスッキリとした見た目、御遠忌のスローガンと両祖師のお姿を大きく配したデザインとなっています。
数珠入れやその他小物入れとしても使える多用途ポーチです。

御本尊金クリアファイル 500円

修復を終え遷座された御本尊が写った金のクリアファイルです。前と後ろでポケットが分かれているので、書類の入れ分けができる優れものです。

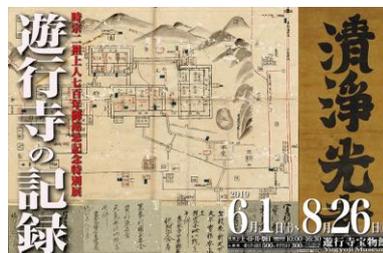
◆ 今月の催事予定

- **遊行寺薪能** 【22日(木)】
たきぎのう
 開場:16時 / 開演:16時40分
 終演予定:20時ごろ
 問合せ:遊行寺薪能実行委員会事務局
 かながわ信用金庫業務部内
 電話 046-821-1709
- **骨董市**【4、18日(日)】
のみ
 毎月第1日曜日…蚤の市
 〈問合せ:090-4416-2168(石田様)〉
 毎月第3日曜日…ボロ市
 〈問合せ:090-2660-6935(中島様)〉
 *午前7時より午後4時まで(雨天中止)
- **寺ヨガ**【18日(日)】
 毎月第2日曜日 於:大書院
 9時~ / 11時~ / 13時~(各70分)
 〈問合せ:090-4365-5034(ナーニヤ先生)〉
- **野菜市**【7、14、21、28日(水)】
 毎週水曜日 午前中出店・雨天中止



* 遊行寺宝物館 *

時宗二祖真教上人七百年御遠忌特別展
『遊行寺の記録』
 開催期間:6月1日(土)~8月26日(月)
 開館日:毎週土・日・月・祝日
 入館料:500円 (小・中学生300円)



宗祖の

今月のおことば

かんのうどうこう 感 応 道 交

夏には仏教の代表的な行事、お盆がございます。お盆を迎えると、皆さんも親戚や友人と再会し、にぎやかに語り合い、楽しく食事をされることかと思えます。みんなが集まるその時間は、きっと有意義に感じられることでしょう。そしてまた、お盆とはそういった楽しい時間を過ごすだけでなく、お帰りになったご先祖さまの供養をする大切な期間であります。

私たちは、家族や友人など多くの人とのつながりの中で生きていますが、いつまでも一緒にいたいという願いとは裏腹に、死の別れが必ずやってきます。皆さんも、年回忌法要を営む時は、ご先祖さまへ供養のこころを表しているかとは思いますが、日常生活ではどうでしょうか。案外普段はその存在を思い出すことを怠っていませんか。

さて、話は変わりますがここで、日本の童謡詩人・金子みすゞさんの『寂しいとき』という詩をご紹介します。

わたしがさびしいときに、よその人は知らないの。

わたしがさびしいときに、お友だちはわらうの。

わたしがさびしいときに、お母さんはやさしいの。

わたしがさびしいときに、ほどけさまはさびしいの。 (出典:「金子みすゞ全集」JULA 出版局)

この詩では、人間の心とは友人や家族であっても理解するのは困難であり、他人にはわかりえないものだということをうたっています。しかし、最後の一文に目を向けると、仏さまだけは同じ気持ちになってくださっていることがわかります。仏さまとは私たちが常に見守ってくださり、喜びや悲しみを分かち合ってくれる存在であると感じられませんか。

確かに私たちは、ご先祖さまから何かしらの形で、想いを受け取り、励まされ、精神面の支えにして生きているように思います。同じ空間にいて会話ができなくても、大切な人であればあるほど通じ合うものです。

お盆には、お墓参りに行くのはもちろんのこと、日常生活を送る中でご先祖さまの存在を忘れないということが、私たちのできる一番の供養ではないでしょうか。誰にでも別れの瞬間は訪れますが、その命の終わりを人間関係の終わりにしてはいけません。

“感応道交”、仏さま(ご先祖さま)と私たちの心は通じあっているという意味の言葉です。より近くに感じ、その関わりを大切にしたいものです。

合掌

ないごんす ときわ じじん
(内近司 常盤 慈人)

もぼら^{ぶつぼうそう}ら仏法僧を念じて
感^{かんのう}応の力を忘れることなかれ
「時宗制誠」

～一遍上人のおこころ～

もつばら、仏法僧の三宝を念じて仏の慈悲を感じて、それに応じてこたえる衆生の力を忘れるな。

※感応…人に対する仏の働きかけと、それを受け止める人の心

時宗総本山
遊行寺

〒251-0001 神奈川県藤沢市西富1-8-1
TEL:0466(22)2063 FAX:0466(23)8243
ホームページ: <http://www.jishu.or.jp>

